

協働のまちづくり活動支援事業 活動報告（中間報告）

実施事業名	不登校 児童 居場所支援 & 保護者サロン「おおあさBASE」		
団体（グループ）名	子ども支援ワーカーズみんなのえ	代表者名	鈴木 侑子
① 地域の課題 [課題を何と考えて事業を行った（行う）のか]	不登校の子ども数は全国で約60万人と過去最高の人数になっているから江別市内にはフリースクールは無く、市で運営しているのはネクスターカ所のみとなっている。子ども本人も保護者も孤立することなく、地域でつながることが大切と考え、地域に気軽に自由に行くことができる居場所を作りたい。安心して居場所が地域に多様にあることが大切ではないだろうか。		
② いつ [事業実施日時]	不登校 児童 居場所支援 & 保護者サロン「おおあさBASE」→毎週火曜日 10:00~12:00 ・当事者への周知・地域理解と広げる講演会→10月20日 西野博之氏		
③ どこで [場所]	おおあさBASE → 大林銀座商店街「みんなのえ」 西野博之氏講演会 → 市民交流施設「ふらっと」		
④ 誰のために [対象者]	不登校児童、保護者		
⑤ 実施内容・進捗状況 [どんなことをした（する）のか]	おおあさBASE ~ 11/9 現在 25回開催 児童8人 保護者18人 支援者12人 子どもは自由に本を読んだり、ボール遊びをしたり、スタッフとゲームをしたり。保護者はお茶をしながら談話。 講演会 ~ 10/20 実施 46名参加		
⑦ 事業の効果 [どんな効果があった（ある）か]	何度か来所している子は保護者を含め関係性を築けている。別のイベントなど（プレーパーク、他学習会）へもつながっている。 講演会では悩みを抱える保護者の方へダイレクトにメッセージが伝えられた。発言する保護者の方も多く、互いの困りごとや悩みを共有する場となった。		
⑧ 事業の展望 [今後どうするのか]	おおあさBASEの回数・時間・内容などの工夫改善が可能な検討。スタッフもボランティアなので、継続するための工夫が必要。現状維持ではなく、展開を模索していく。保護者の方へ向けた講演会・学習会は今後も必要。子どもが学校に行かなく（行けなく）なっているのではなく、全体的な方向性への講演会などで問題を共有するべきだと感じた。		

自由記載欄（事業に関連する写真やチラシ、PRなど）

令和6年度江別市協働のまちづくり活動支援事業
不登校支援「おおあさ BASE」スタート記念

みんなのいえがきく！

西野博之さん トークショー

不登校に悩むご家族にパワーがもらえるお話です。「ふつう」「あたりまえ」から
解き放たれて、ほっとできる「大丈夫の種」を手に入れましょう！

2024 年

10/20(日)

参加費無料・要申込



おはなし：西野博之さん

認定 NPO 法人フリースペースたまりば理事長。不登校に関わって 40 年。子どもたちに寄り添い「不登校」の概念を大きく変えてきました。学校の課題にも目を向けながら、子どもたちの現状について発信し続けています。映画「ゆめばのじかん」は大

きな反響を呼びました。子どものこと、居場所づくりのことなど幅広くお話していただきます。

【第1部】13:30～15:30

(開場 13:15)

生きてるだけですごいんだ
～居場所のちから～

対象 一般保護者 50 名 (先着順)

会場 市民交流施設 ぷらっと C・D

(江別市東野幌町 6-43 駐車場あり)

【第2部】17:00～18:30

あそぶちから いきるちから
～プレーパークから学ぶ
子どもへのまなざし～

対象 江別市内保育関係者 30 名

会場 放課後児童クラブ みんなのいえ
(江別市大麻東町 13-47)

右記 QR コードもしくはお電話にてお申し込みください。

主催 / お問い合わせ・お申し込み

こども支援ワーカーズ みんなのいえ 080-3234-6224

e-mail: minnanoie.ebetsu@gmail.com

締切
10/15(火)



えべつ コラボ ニュース

2024.7 no.46

ピックアップ!

頑張っている市民活動団体を紹介

こども支援ワーカーズ みんなのいえ

こども支援ワーカーズ「みんなのいえ」は、我が子だけではなく、地域の子どもたちのために何が出来るのか、課題解決のために活動している団体です。

主な活動は、

- ①子どもの自由な居場所（遊び場づくり『プレーパーク』）
- ②中・高生の居場所『みんなの自習室』
- ③地域でつながる『アットホームカフェ』
- ④子どもにやさしいまちづくり活動
- ⑤放課後児童クラブ『みんなのいえ』

の5つですが、今年度、協働のまちづくり活動支援事業に申請した新しい活動として、学校に行かない・行けない子ども達と、その保護者のための活動として、週1回「おおあさ BASE (ベース)」と名付けた居場所づくりを始めました。訪れた人が落ち着いて過ごすことが出来る工夫が随所にこらしてあります。

また、神奈川県で居場所づくりに30年以上関わっている西野博之氏を招いたトークショーも10月に開催します。こちらイベントは、事前にお申し込みのご連絡をいただいた上でご参加出来ます。その他の活動についても、詳細はInstagramで随時発信しています。ぜひご覧ください。



「おおあさBASE(ベース)」は、毎週火曜日10時から12時開催です。大麻銀座商店街の「みんなのいえ」の玄関に、左の看板が出ている日は利用出来ます。予約は不要、無料です。

※お車で越しの際は、大麻銀座商店街 共用駐車場をご利用ください。(トライアル前)



普通の住宅の造りに近い落ち着いた空間で、スタッフに話を聞いて貰ったり、手芸や工作といった手作業やボードゲームを楽しんだり、子どもも大人も思い思いの過ごし方が出来ます。静かに一人で本を読んでも構いません。寝転んでくつろげる畳やマットのミニコーナーも有ります。まさに、“安心出来る拠点”のイメージです。

西野博之さんトークショー

10月20日(日)

会場・時間などは、後日下記のInstagramでお知らせします。

お問合せ先



こども支援ワーカーズ みんなのいえ
連絡担当 鈴木 律子
メールアドレス
minnanoie.ebetsu@gmail.com

最新情報はこちらから→
(Instagram)



昨年度のプレーパークの様子。冬でも開催しています。

えべつコラボニュースは、江別市より委託を受けてNPOえべつ協働ねっとわーくが編集・発行しています。

江別市民活動センター・あい

江別市東野幌町6番地43
市民交流施設「ぷらっと」内
TEL:011-374-1460



<https://center-i.jp/>
あいのホームページはこちら



コラボニュースのバックナンバーは
こちらからご覧いただけます